

《飯坂地区町政懇談会》

年月日 令和 8 年 10 月 5 日(月)
時 間 午後 6 時 30 分～午後 8 時 00 分
場 所 飯坂公民館
町民出席者数 15 名

- ① 開会：副町長
- ② 町長あいさつ：(内容省略)
- ③ 町役場出席者紹介
- ④ 懇談
講義「地域の防災を考える」福島県災害対策課
令和 8 年度町政懇談会事前質問に対する回答
- ⑤ 閉会：教育長

○講義「地域の防災を考える」に対する質疑応答 ※講義資料は別紙

質問 1 災害時、川俣町の避難所はどこになるのか。中央公民館なのか、役場なのか、地区の公民館なのか。

【総務課長補佐】

回答 1 防災マップや、町のホームページに避難所一覧を掲載している。全部で 54 箇所あり、飯坂地区だと、旧飯坂小学校や飯坂公民館、飯坂コミュニティ消防センター、下戸集会所。発生した災害によって、開設する避難所は分けられている。

質問 2 旧飯坂小学校は、改修後も避難所となるのか。

【総務課長補佐】

回答 2 現時点では検討中。

質問 3 地球温暖化や、CO2 削減について、県で行っていること、国に対して何か伝えていること、発言していることはあるか。

【福島県災害対策課】

回答 3 別の部署になるが、紙の削減や電子化などによって CO2 削減に取り組んでい

る。国に対しては、CO2 削減に繋がる物品の購入に対する補助や、民間企業への CO2 削減の取り組みに対する補助といったことを要望している。

【町長】

回答 3 CO2 削減については町でも取り組んでいる。ゴミの減量化や各公共施設の電気使用量の削減など、数値目標を作って取り組んでいるところ。

質問 4 11 月に国で防災庁ができるが、県では何か関連することはあるか。

【福島県災害対策課】

回答 4 県職員が派遣されているが、防災庁の詳細がまだ決まっていない。

質問 5 地区防災計画というのは、どの程度の規模の地区で作ればよいのか。

【福島県災害対策課】

回答 5 規模については法律でも決まりがない。小さい規模で作っても効果はあると考えている。5 人、10 人しかいない集落でも、県は支援に行く。

○事前質問に対する回答、その他意見交換 ※事前質問なし

質問 1 消防団の組織改編について、消防団員の減少や経費削減という背景があると思うが、地域に密着した消防団というのは重要だと思うので、よく検討していただきたい。

【町長】

回答 1 消防団は、約 30 年前に現在の体制となったが、人口が減少し、団員の数が増えに達していないのが現状。以前は農家など自営業の人が多かったが、今は会社員などの人も多く、団員を募集しても増やすことは難しい。団員が少ない分団だと、有事の際に団員が集まらず、対応ができないということも起こり得る。そうならないため、分団の統合などにより、機敏な対応ができるよう検討しているので、ご理解いただきたい。

質問 2 9月7日に大雨で小中学校が休校になった。福島市ではオンライン授業を行っていたようだが、川俣町ではなぜできなかったのか。また、過去にオンライン授業を行ったことがあるか。

【教育長】

回答 2 土日に台風の状況が変わってきて、登下校の時間帯に雨が強くなるという予報が出たことから、前日の午後2時に休校の判断をした。福島市では、以前熊の出没によって何日も休校するということがあり、タブレット端末を毎日持ち帰っている状況がある。

川俣町では、ネットワーク環境が整わない方にはWiFi接続機器を貸し出ししており、オンライン授業ができる環境を整えている。また、病気などで長く休んでいる子どもには、オンラインで授業の様子を映して見てもらっているということもある。今後、感染症等の流行以外の場合でも、オンライン授業の実施を検討していく。

質問 3 教育委員が各地区にいると思うが、教育委員会の活動内容について知りたい。

【教育長】

回答 3 教育委員会は、教育長ほか4名の教育委員で構成されている。月1回定例会を行っており、学校の取り組みや設備、予算、教員の人事に関すること、子どもたちの学習状況等の検討を行っている。ここで検討したことを町部局と調整し、最終的には議会の議案として挙げている。それ以外に、町の行事にも教育委員として出ている。

質問 4 以前、大雨で道路が土石流のような状況になり、消防車も落ちて動けなくなってしまう、避難もままならない状況になった場合、どこに連絡したらいいのか。

【町長】

回答 4 自宅が安全であれば、無理に避難せず、自宅で待機して助けを待つことや、近隣の人と助け合うといったことをしてほしい。災害が起きれば、役場は直ち

に災害対策本部を設置するため、役場に連絡していただいて良いが、すぐに対応できるとは限らないため、自主防災組織というものを皆様で考えていただきたい。

質問 5 行政区長や連絡員に対して、広報紙等の配布や募金集めだけでなく、地域の防災についても一役を担ってほしいと考える。行政区長協議会の場合などで、そういったことも提起してほしい。自主防災組織を作る上でも、行政区長や連絡員の参加は必要と考える。

【町長】

回答 5 行政区長、連絡員の業務は明確にしており、防災に関することまでは依頼していないため、ご理解いただきたいが、地域の事情をよく知っているのは行政区長、連絡員だと思うので、自主防災組織作りなどの時はぜひ加わってもらってもらうよう、地域の中で話し合ってもらいたい。

質問 6 今年 6 月の初めに、飯坂生活改善センターから大木戸へ抜けていく町道二反窪大木戸線の側溝蓋設置に関する要望書を提出しているが、その後進展等あれば教えていただきたい。

【建設水道課長】

回答 6 現在、峠線で同様の工事を進めているところ。一度に全てはできないため、今後方法を考えながら、予算確保に努めてまいりたい。